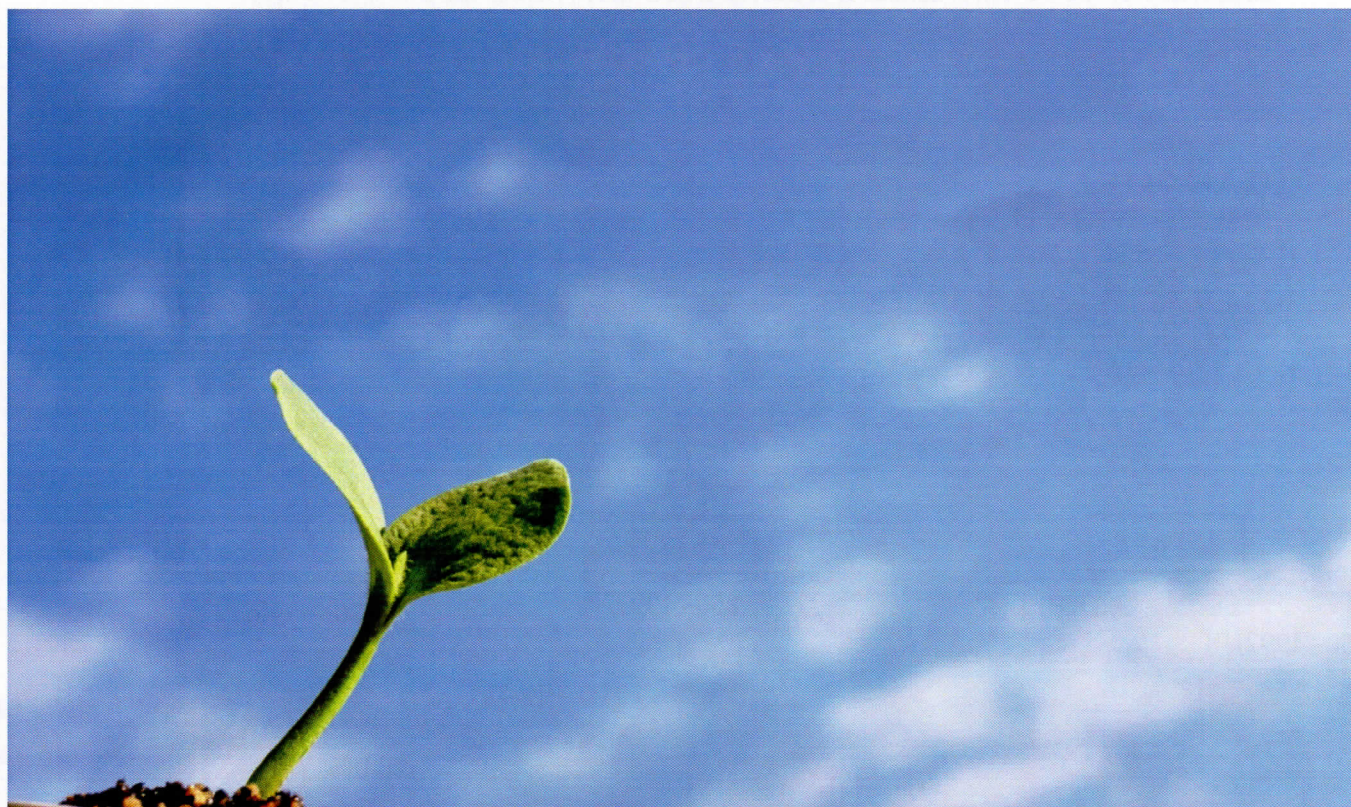


精神障害者生活実態調査報告書

多くの精神障害者が経済的に困窮している現状から
医療費の助成を拡大する必要があります



石川県における精神障害者の
医療費助成の拡大を求める連絡協議会

2023年8月

【はじめに】

令和2年10月から、石川県では精神障害手帳1級の人達は、「心身障害者医療費助成制度」が適用されることになり、全ての医療費支払いが免除されるようになりました。石川県の英断に感謝いたします。

しかし、精神障害1級に該当する人達は石川県全体の精神障害者（手帳所持者）の僅か3.7%に過ぎません。そして、精神障害2級は84.4%、3級は11.9%で圧倒的に2級の人が多いことが特徴です。

精神障害者の多くが経済的に困窮していると言われてきましたが、石川県におけるその実態は明らかではありませんでした。この度、石川県の障害者ニーズ調査に合わせて、精神障害者の生活実態調査を行う機会が得られました。調査結果では精神障害者とそのご家族が経済的に厳しい状況に追い込まれている実態が明らかになりました。以下にその詳細を報告します。

【方法】

調査目的：精神障害者の暮らしや受診状況等の実態を把握することを目的とする。

調査期間：2022年9月～10月

調査方法：石川県障害者福祉のためのアンケート調査にアンケート用紙を同封して、郵送にて回収。

調査対象：1,030人（精神通院公費負担対象者及び精神科病院入院者の中から市町ごとに5%を抽出）

426件回答があり、回答率41.4%であった。

【収入について】

精神障害者の多くは、自ら働いて収入を得ることは得意ではありません。仕事についても疲れやすく、集中力が続きません。A型作業所に通って、がんばって年収が150万円を超える人もいますが、多くの人達（78.7%）が年収149万円以下と低収入にあえいでいます。特に障害2級の人達は年収149万円以下の人たちが86.4%と極めて多く、障害年金だけを基盤に生活されている実態が示されました。

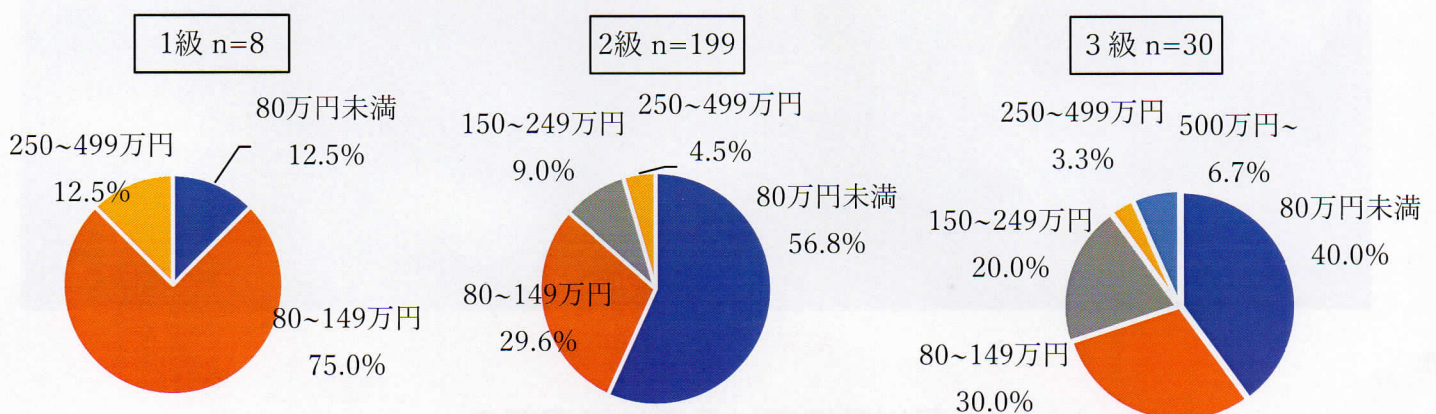


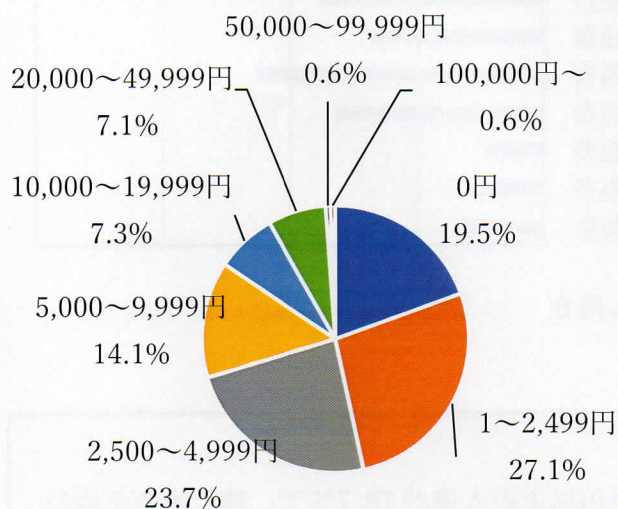
図1. 障害者手帳の級別による年間収入

【支出について】

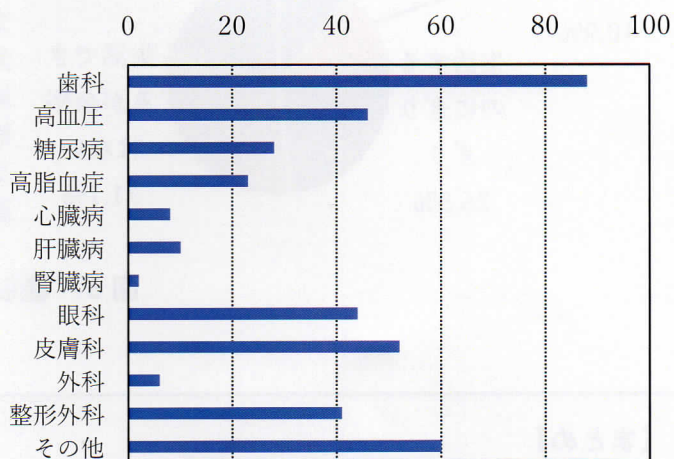
支出のうち医療費が問題です。精神障害者は、他の身体障害や知的障害と違って、福祉的サービスによる支援だけでなく、症状の再発を抑えるために通院・服薬が欠かせません。精神科への通院が続けられるように精神障害者のための自立支援医療制度がありますが、精神科以外の科を受診すると、一般の人と同じく3割負担が求められます。受診科で最も多いのが内科（高血圧、糖尿病、高脂血症、心臓病など）で、ついで歯科、眼科、皮膚科などです。そして、22.4%の人達が月に1万円以上の支払いが必要となっています。

その結果、「精神科以外の病気の治療を控えている」人達は、408人中95名（23.3%）おり、その理由では「お金がないから、家族に経済的な負担をかけたくないから」が47人と控えている人の半数もいたことに愕然としました。

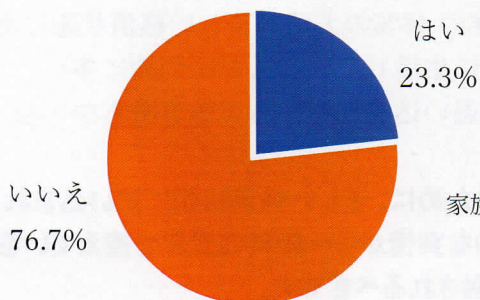
一般科医療費（月平均） n=354



現在治療を受けている精神科以外の病気



精神科以外の病気の治療を控えている n=408



精神科以外の治療を控えている理由（複数回答あり）

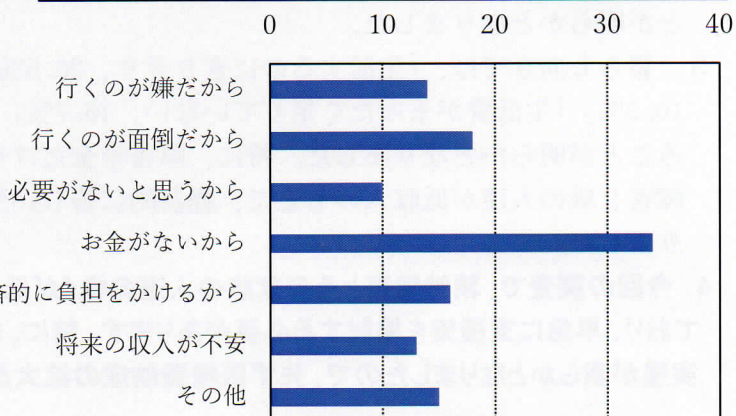


図2. 支出について

【暮らし向き】

411名の精神障害者とそのご家族の意見では、「生活するのにぎりぎり、26.5%」「生活費が不足することが多い、10.9%」「生活費がまったく足りていない、10.7%」で全体の48%の人達が苦しい経済状態にあることが明らかとなりました。そして、特に、障害年金だけを基盤として生活している人が圧倒的に多い、障害2級の人達が低収入のもとで、経済的に苦しい生活に追い込まれている実態が示されています。

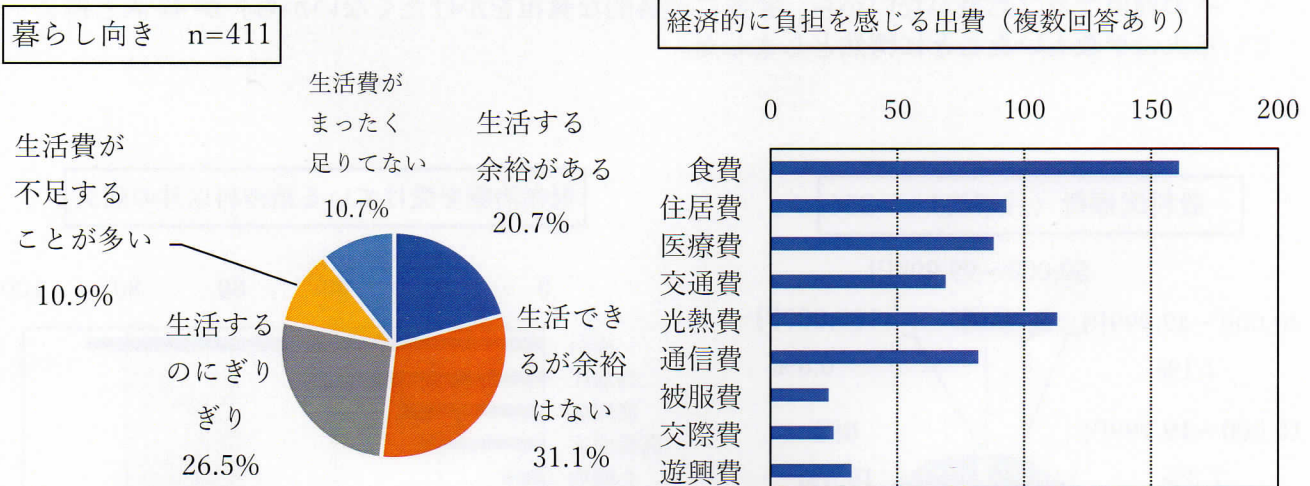


図3. 暮らし向き

【まとめ】

1. 精神障害者の生活実態調査では年間収入が149万円以下の人達が78.7%で、特に障害2級の人達は86.4%が低収入に苦しんでいる実態が明らかとなりました。
2. このような低収入の生活の中で、医療費の支払い、特に内科など精神科以外の科の診療を受けると医療費負担が大きく、全体の23.3%の人達が経済的理由で一般科の受診を控えていることが明らかとなりました。
3. 暮らし向きでは、「生活するのにぎりぎり、26.5%」「生活費が不足することが多い、10.9%」「生活費がまったく足りていない、10.7%」で全体の48%の人達が苦しい経済状態にあることが明らかとなりました。特に、障害年金だけを基盤に生活している人が圧倒的に多く、障害2級の人達が低収入のもとで、経済的に苦しい生活に追い込まれている実態が明らかとなりました。
4. 今回の調査で、精神障害とその家族の人達の多くが低収入のために、苦しい経済状態に追い込まれており、早急に支援策を検討する必要があります。特に、経済的な実情から一般科の受診を控えている実態が明らかとなりましたので、先ず医療費助成の拡大から検討されるべきです。

編集委員： 松田茂喜、道見藤治 (医療費助成を実現させる当事者会)
 岩尾 貴 (石川県精神保健福祉士会)
 松原三郎、一ノ宮尚子 (松原病院)
 中谷賢宗 (石川県精神保健福祉家族会連合会)

社会保障制度の適用、生活の糧、年収、暮らし向きなどの障害等級別の詳細は付表をご参照ください。

付 表

表 1. 属性集計（等級、男女と年齢層対比）

	1 級		2 級			3 級		手帳なし		無回答		年齢 合計
	男性 人数	女性 人数	男性 人数	女性 人数	無回答 人数	男性 人数	女性 人数	男性 人数	女性 人数	男性 人数	女性 人数	
年齢の幅												
17 歳以下								2	4			6
18～29 歳			5	8		1	2	11	8	1		36
30～39 歳			22	13	1	1	3	7	10			57
40～49 歳	1	1	25	27		5	2	12	20	3	1	97
50～59 歳	2		30	25	1	4	2	11	17	5	2	99
60～64 歳	1		8	8		3	1	5	11	2	1	40
65～74 歳	3		18	14		5	1	4	11	2		58
75 歳以上		1	1	4				4	11	2	6	29
無回答				1	1				2			4
男女小計	7	2	109	100	3	19	11	56	94	15	10	426
等級計	1 級合計 9		2 級合計 212			3 級合計 30		なし合計 150		不詳合計 25		
男女合計	男性合計 206					女性合計 217					総計 426	

表 2. 医療保険種類の分布割合（等級と対比）

保険の種類	1 級 n=10		2 級 n=214		3 級 n=30		手帳なし n=153	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
社会保険等(本人)	2	20	26	12.1	9	30	50	32.7
社会保険等(家族)			38	17.8	1	3.3	27	17.6
国民健康保険	5	50	108	50.5	18	60	53	34.6
後期高齢者	2	20	7	3.3	1	3.3	14	9.2
生活保護	1	10	28	13.1	1	3.3	6	3.9
その他			4	1.9			1	0.7
無回答			3	1.4			2	1.3

表 3. 年金受給の分布割合（等級と対比）

保険の種類	1 級 n=9		2 級 n=228		3 級 n=30		手帳なし n=154	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
障害基礎年金	5	55.6	131	57.5	3	10	23	14.9
障害厚生年金			31	13.6	9	30	7	4.5
老齢年金	1	11.1	12	5.3	3	10	27	17.5
高齢者の老齢年金受給率	÷4	25	÷37	32.4	÷6	50	÷30	90
その他の年金	1	11.1	11	4.8	2	6.7	13	8.4
年金なし	1	11.1	38	16.7	12	40	73	47.4
無回答	1	11.1	5	2.2	1	3.3	11	7.1

表 4. 自立支援医療費の分布割合（等級と対比）

	1 級		2 級		3 級		手帳なし	
	n=5		n=146		n=24		n=104	
自立支援医療費上限額	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
0 円	1	20	13	8.9	1	4.2	4	3.8
2,500 円			45	30.8	6	25	14	13.5
5,000 円	2	40	51	34.9	9	37.5	30	28.8
10,000 円	1	20	23	15.8	4	16.7	36	34.6
20,000 円			2	1.4			3	2.9
上限なし	1	20	12	8.2	4	16.7	17	16.3
無回答								

表 5. 年収の分布割合（等級と対比）

	1 級		2 級		3 級		手帳なし	
	n=9		n=212		n=30		n=150	
年収額の幅	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
80 万円未満	1	11.1	113	53.3	12	40	58	38.7
80～149 万円	6	66.7	59	27.8	9	30	35	23.3
150～149 万円			18	8.5	6	20	19	12.7
250～149 万円	1	11.1	9	4.2	1	3.3	22	14.7
500 万円以上					2	6.7	4	2.7
無回答	1	11.1	13	6.1			12	8

表 6. 年収の種類別の分布割合（等級と対比）

	1 級		2 級		3 級		手帳なし	
	n=9		n=257		n=34		n=154	
年収の種類	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
給料	1	11.1	46	17.9	14	41.2	59	38.3
自営業			5	1.9	22	5.9	3	1.9
工賃			14	5.4	1	2.9	3	1.9
年金	7	77.8	139	54.1	13	38.2	51	33.1
生活保護	1	11.1	28	10.9	2	5.9	6	3.9
その他			15	5.8	2	5.9	22	14.3
無回答			10	3.9			10	6.5

表7. 年収に区分される手帳等級按分と年収の種類分布割合

	80万円未満		80～149万円		150万円以上	
手帳カウント	n=184		n=109		n=82	
手帳等級	人数	按分割合(%)	人数	按分割合(%)	人数	按分割合(%)
1級	1	0.6	6	5.5	1	1.2
2級	113	61.4	59	54.1	27	32.9
3級	12	6.5	9	8.3	9	11
手帳なし	58	31.5	35	32.1	45	54.9
年収の種類カウント	n=210		n=136		n=95	
給料	24	11.4	40	29.4	62	65.3
自営業	6	2.9	2	1.5	2	2.1
工賃	13	6.2	3	2.2	1	1.1
年金	110	52.4	79	58.1	24	25.3
生活保護	24	11.4	9	6.6	2	2.1
その他	33	15.7	3	2.2	4	4.2

表8. 暮らし向きの分布割合（等級と対比）

	1級		2級		3級		手帳なし	
	n=9		n=217		n=30		n=150	
暮らし向きの意識	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
生活する余裕がある			43	19.8	2	6.7	34	22.7
生活できるが余裕はない	3	33.3	63	29	6	20	54	36
生活するのにぎりぎり	4	44.4	60	27.6	12	40	30	20
生活費が不足することが多い	2	22.2	23	10.6	4	13.3	14	9.3
生活費がまったく足りてない			25	11.5	6	20	11	7.3
無回答			3	1.4			7	4.7

表9. 年収に区分される暮らし向きの分布割合

年収幅	80万円未満		80～149万円		150万円以上			
年収幅の4つのカウント	80万円未満		80～149万円		150～249万円		250万円以上	
n=395	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
年収幅の按分	194	49.1	117	29.6	45	11.4	39	9.9
暮らし向きカウント	n=226		n=113		n=83			
暮らし向きの意識	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数		割合(%)	
生活する余裕がある	28	12.4	25	22.1	21		25.3	
生活できるが余裕はない	48	21.2	45	39.8	31		37.3	
生活するのにぎりぎり	67	29.6	23	20.4	16		19.3	
生活費が不足することが多い	50	22.1	10	8.8	12		14.5	
生活費がまったく足りてない	33	14.6	10	8.8	3		3.6	

なお、詳細な「障害者福祉のためのアンケート調査(精神障害者)報告書」は石川メンタルヘルスネット(<https://ishikawa-mentalhealth.net>)に掲載しており、ダウンロードできます。

「石川県における精神障害者の医療費助成の拡大を求める連絡協議会」

代表 松原三郎

「私たちのための精神保健医療福祉を考える会」

「石川県精神保健福祉家族会連合会」

「金沢市精神障害者家族連合会」

「石川県精神保健福祉士会」

「日本精神科看護協会石川県支部」

「石川県作業療法士会」

「石川県相談支援専門員協会」

「石川県精神科診療所協会」

「石川県精神障害者支援事業所連絡会」

「医療費助成を実現させる当事者会」